



ももたろうくん

ももたろう通信



発行日：2021年7月2日
発行：社会福祉法人つどいの家 グループホーム
発行責任者：飯田克也（グループホーム管理者）
住所：〒984-0823
仙台市若林区遠見塚2-16-15（ピポット若林）
連絡先：022-282-4671

※ももたろう通信の由来：仲間と助け合い、共に作る広報誌

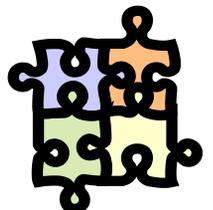
私達は仲間と協力して生活しています

新型コロナウイルスが猛威を振るっており、宮城県・仙台市ではまん延防止等重点措置が実施され（4/5～5/11）、最近では変異株も見られておりとても心配です。コロナ禍でオンライン、リモート等を耳にすることが多くなり、みなさんも活用する機会が増えているのではないのでしょうか。過日、日本グループホーム学会とくしま入居者委員会の方と入居者の方がオンライン交流会を行いました。徳島の入居者の方のなかには日本グループホーム学会全国大会in仙台（2017年7月）で仙台に来た入居者の方もおり、「仙台大会いきましたよ」等と声をかけてくれました（オンライン交流会の詳細は本号4頁をご覧ください）。コロナ禍でこれまでのように外出することはできませんが、コロナ禍にあっても入居者の方々が楽しめるような取り組みをしていきたいと思えます。

4月当法人の運営するグループホームにおいて、グループホームに勤務する職員に新型コロナウイルス感染が確認されるという出来事がありました。入居者及び感染者と勤務が重なった職員に対し、法人独自でPCR検査又は抗原検査を行い、法人が事前に定めていたマニュアルに沿って、保健所及び関係機関の指導のもと初動対応に努めました。昨年度宮城県看護協会の看護師によりグループホームでのゾーニング（生活空間の区分け）のアドバイスが大変役立ちました。幸い入居者やその他職員全ての検査結果が陰性であることが判明しました。入居者は全員陰性ではありましたが、保健所より濃厚接触者として認定され、約2週間グループホーム内のみで過ごすという行動制限を余儀なくされました。突然外出できない日々が続く、入居者の方はストレスを感じていたことと思えます。またこの状況がいつまで続くのか分からないため、入居者の方への説明も難しさがありました。職員はゾーニング期間中感染防護具を着用しながらの支援でしたので、動きづらさや暑さのストレスがありました。そうしたなかで職員は、入居者の方が少しでもグループホーム内での過ごしを楽しむことができるようにと店屋を開いたり、身体を動かしたりといろいろな工夫をしながら日々を過ごしました。あらためて心のケアの大切さを感じました。

うつさない、うつらないために感染予防をしていきましょう。

（グループホーム管理者 飯田）



グループホーム紹介～ひこうき雲編～

Sさんの表情(*^^*)

グループホーム「ひこうき雲」のSさん、☆最近の様子を紹介します。

日々、さまざまなサービスや支援を利用し生活しています。訪問看護、訪問マッサージ、ご家族の来所…コロナ禍という大変な時代だからこそ、人との繋がりが大切だと教えてくれています。

Sさんとの関わりの中で感じるのは、とても表情豊か(o^—^o)ニコ ということ。ニコッと笑顔になったり、真剣な表情になったり、つまらなそう…な表情、涙を流したりゲラゲラ笑うこともあります。それはサービスを受けている時も垣間見え、コミュニケーションの一つになっています。訪問看護やマッサージの時は気持ちよくなり身を委ねてウトリ。土日は近隣散歩やヨギボー(クッション)に座って日向ぼっこをしてリフレッシュ☆その瞬間ごとに様々な表情を見せてくれるのですが、その様子を写真で紹介するのが難しい…!写真を撮ろうとカメラを向けると表情がこわばる一面も。一瞬の表情を写真に収めるってすごく難しい!!と感じます。

今回は世話人に見せる表情をご紹介します☆色々な表情を見せてくれるSさん。そこにいるだけでパッと明るくなります。最近では表情の他に、世話人の手をつかみ離さないことがあります。これも一つの意味表示だと捉えて、今は私との時間!よそ見しないで!と言われているような(笑)言葉はなくとも、表情や様子で思いを読み取る、推測する事が支援に繋がると改めて思いました。これからも様々な表情を見つけていきたいです☆

(記:佐藤亜矢)



車椅子修理でお疲れの様子



リラックスタイム☆



全員集合!!



カメラを向けると…

こっち!あっち!そっち!?



キリツ☆



またカメラ!



テレビ面白い!!



この時はイケメンを見て笑っていました

となりの晩ごはん～つどいの家グループホームの食事

ひかりはうす編

ひかりはうすには栄養士はいませんが、毎日調理担当の世話人がバランスを考えて食事を調理しています。グループホームの食事メニュー表や通所事業所の献立表を参考に、一汁三菜を基本とした食事を調理して提供しています。「食の楽しみ」を忘れないよう、おかずの色合いや食事形態(入居者さんにおかずを見せてからハサミを入れるなど)にも配慮しています。実際に食べて味わうことはもちろん、目で見て食事を楽しむことも大切なことですね!

基本的には調理担当の世話人がメニューを決めていますが、入居者の皆さんからリクエストがあればその意見を尊重します。また、誕生日や季節に合わせたメニューなどイベントに合わせて献立を考えることもあります。写真はある日の夕食ですが、「鮭フライが食べたい!」ということで入居者さんが自ら買い物に行ってくれました。「いただきます」をした後は何度も「おいしい!」と言ってくれて、食べ終わってみればなんと!入居者5名全員完食でした!自分の作ったものを皆が残さずに食べてくれる。ささやかですがとても嬉しいことだと実感した時間でした。

「おいしかったよ」の一言が何よりも調理や食事のモチベーションアップに繋がるのではないのでしょうか。これからも入居者の皆さんに食事の時間を楽しみに思っ貰えるよう、また機会があれば食事の様子を紹介できたらいいなと思います。モリモリ食べてコロナに負けず元気に過ごしましょう!
(記:伊達直美)



- ・ごはん
- ・コンソメスープ
- ・鮭フライ
- ・マッシュポテト
- ・中華和え

にじいろ編

写真のメニューはにじいろ職員が調理しました!!

にじいろには調理担当の職員がいますが、それ以外の職員も調理を担当しています。

「今日何食べたいですか?」と尋ねるのはもちろん、「飲み込みやすいかな?」「みんなのお腹の調子はどうかな?」と考えながら調理を行っています。

入居者さんたちの年齢も考えながら、野菜を多めにとれるよう栄養バランスなども考えながらメニューを考えています。元気に通所し、活動するためにも、「医食同源」でしっかりと食べて健康一番で行きたいですね!!

(記:村上泰庸)

本日の夕飯メニュー

- ・ごはん
- ・味噌汁
- ・鳥肉と大根の煮物
- ・オクラとなめ茸の和え物
- ・コーヒーゼリー



嚙む力に応じて食材を小さくしています。



徳島のグループホーム入居者さんとZOOMで交流！！

4月18日にZOOMを使用して、とくしま入居者委員会の入居者さんと交流会を開きました。今回は徳島-横浜-仙台の入居者の方が交流しました。まずは自己紹介から始まり少し緊張されている様子だったSさん、「趣味は何ですか？」との質問に対して「カーレース」と答えていらっしゃいました。コロナウイルスが蔓延している中で、各グループホームで感染対策をどのようにしているのか、ホームでの生活の工夫などを報告し合いました。



最近ラジコンカー
を買いました☆

交流会に参加したSさんの感想

Q1.一番印象に残った話題は何でしたか？

Sさん：一番印象に残っているのは持っている鍵についての話です。私が持っているのは1本（Sさんの部屋の鍵）ですが、他のグループホームの方で玄関の鍵など複数本持っている方がいて驚きでした。

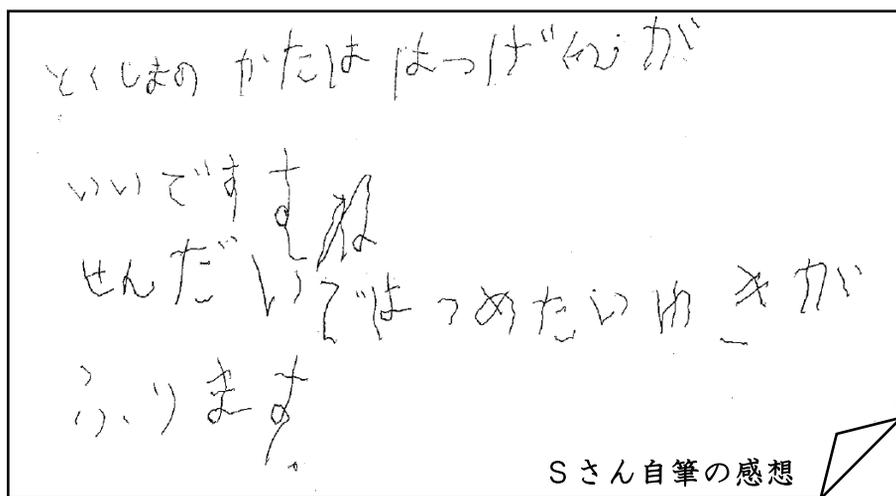
Q2.次また徳島のグループホームの方とお会いしたときはどのような話をしてみたいですか？

Sさん：本当に色々なことを話してみたい。なかなかコロナウイルスが流行っているため会う機会がないので。

Q3.またZOOM（交流会）はやってみたいですか？

Sさん：大いにやってみたいです。今回は徳島の方でしたが、もっともっと色々な県の入居者の方と話をしてみたいです。飯田さん任せました！！

今まではグループホーム学会の全国大会で実際に他のグループホームの方と会って話をする機会があったSさん。「新しい生活様式」として、これからの交流の方法の一つとしてまたZOOMなどを活用していきたいですね。
(記：村上泰庸)



【編集後記】

少し前のことになりますが5月26日はスーパームーン&皆既月食でしたね！みなさんご覧になりましたか？私はベランダから見たり、YOUTUBEのライブ中継を見たりとわずか15分の天体ショーを子どもと一緒に楽しみました。

まだまだインドアな楽しみが中心の生活ですが、そんな中でも日常生活の中にある楽しみを見つけていきたいと再認識しました。
(記：佐藤靖志)